

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 6月 1日(日)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会2日目	Mコート	第3試合13:15~									
<チームA> 柏市立柏 千葉 3位		87 <table border="0"> <tr><td>1Q</td><td>29</td></tr> <tr><td>2Q</td><td>4</td></tr> <tr><td>3Q</td><td>22</td></tr> <tr><td>4Q</td><td>15</td></tr> </table>	1Q	29	2Q	4	3Q	22	4Q	15	70	<チームB> 土浦日本大学 茨城 3位	
1Q	29												
2Q	4												
3Q	22												
4Q	15												

【Bブロック】

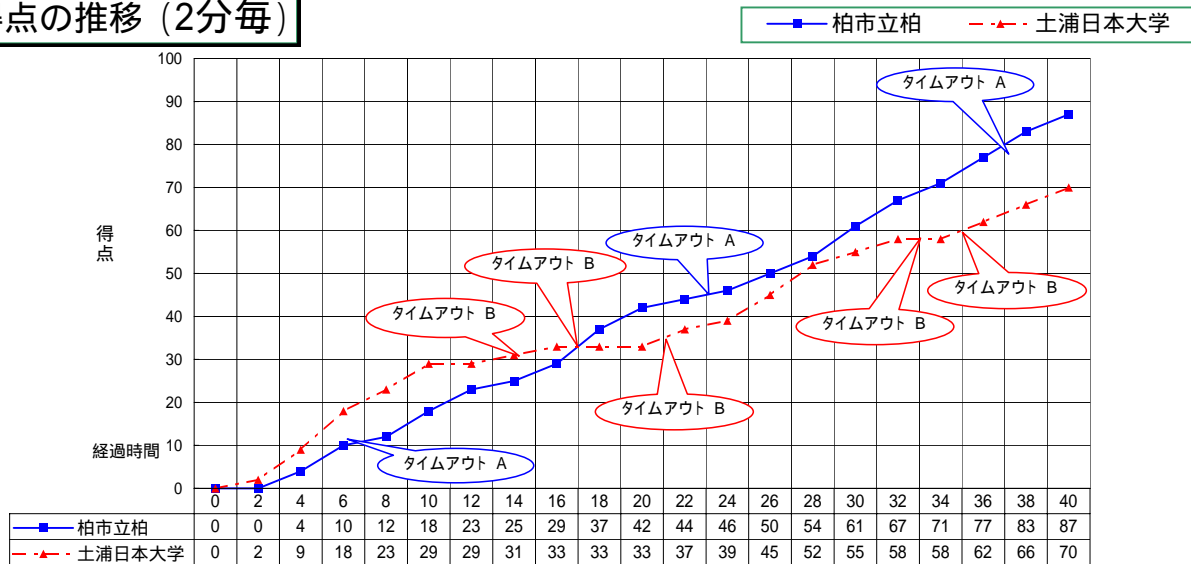
主審：久保 裕紀(指名) 副審：吉田 憲生(埼玉)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	林 裕輝	12	1	4	1	2
	5	小山 哲	22	3	6	1	1
	6	吉田 開					1
	7	大久保 和士	15	1	5	2	
	8	小林 秀平	2		1		1
	9	佐々木 翔平					
	10	與那城 廣仁					
	11	石川 駿					
	12	菊池 優祐	6		3		2
	13	服部 雄登					
	14	小杉 智希	10		4	2	1
	15	矢代 翔					
	16	牧 良輔					
	17	岡田 福嗣	20		9	2	3
	18	谷口 潤					
		コーチ 稲野辺 聡					
合計			87	5	32	8	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	浜田 将行	17	2	4	3	
	5	天田 琢也	2		1		1
	6	猪狩 承平	12	2	3		
	7	岩崎 貴宏	22	4	4	2	
	8	堀口 貴大					1
	9	嶋津 卓矢	4		2		
	10	飯島 洋					2
	11	國井 貴晃					
	12	中村 桂大					1
	13	畠山 和	5		2	1	1
	14	佐藤 恭平					3
	15	増淵 大輝	2		1		1
	16	森山 雅仁	4		1	2	1
	17	安達 和貴	2		1		1
	18	岡本 英俊					
		コーチ 笠原 成元					
合計			70	8	19	8	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評 記入者： 安達 准一

B7ブロック決勝は、市立柏(以下 市柏)と地元土浦日大(以下 土浦)との対戦。お互いハーフコートマンツーマンでゲームスタート。第1P、先に流れをつかんだのは土浦。浜田がドライブイン・3Pシュートと内外に活躍。ディフェンスもインサイドを厳しく守り、開始3分間を無得点に抑える。対する市柏は、小山のアウトサイドからのシュートを中心に反撃を試みるが、厳しいディフェンスに会い、なかなかインサイドを崩せない。市柏18-29土浦で第1P終了。

第2P、浜田をベンチに下げた土浦は得点がびたりと止まる。第1Pからディフェンスリバウンドに集中を欠く場面が見られた土浦はこのピリオド、市柏に完全にリバウンドを制される。市柏、小山、岡田が得点に絡むだけでも合わせて6本のオフェンスリバウンドをもぎ取り、残り3分にはついに同点に。土浦ベンチがタイムアウトを請求すると、再開直後のディフェンスをワンポイント、オールコートマンツーマンに切り替え、流れを手中にする。市柏が逆転に成功し、市柏40-33土浦とし、前半を終了。土浦はこのピリオド4点しか奪えず、後半に不安を残した。

後半、第3Pは一進一退の展開。土浦日大は、岩崎の3Pシュートなどで応戦し、一時1点差に詰め寄る。しかし、第4Pに入ると単調になったオフェンスが市柏のディフェンスに阻まれ、次々に速攻を許す。市柏、林がアウトナンバーからアシストパスを立て続けに供給。後がない土浦も速い展開に応じ、ドライブを中心に反撃を試みるが、じわじわと点差が広がってゆき、万事休す。市柏87-70土浦で、市柏がB7ブロック優勝を収めた。

市柏、林が要所で声を出し、自チームの選手を鼓舞する姿が印象的であった。